

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0007

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0114
				2019/1/8
調整後保管日時		2019年1月30日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 共用プール南側ヤード整備工事								
	発生場所	1～4号機周辺						2019/1/8	2019/1/8	
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-255		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 8:00	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態		D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0007

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0115
				2019/1/8
調整後保管日時		2019年1月30日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F 共用プール南側ヤード整備工事							
	発生場所	1～4号機周辺					2019/1/8	2019/1/8	2019/1/8
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-255	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	D B	2 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
4				m ²					
5				m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 9:40	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0007

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0116
				2019/1/8
調整後保管日時		2019年1月31日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 共用プール南側ヤード整備工事									
	発生場所	1～4号機周辺									
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/12/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-255			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	不燃物その他(シート)	B	10	D	B	3 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2	不燃物その他(ホース)	B	10	D	B	2 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他(シート) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 8:15	3 m ²			1
	2	1	不燃物その他(ホース) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 8:15	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0164
				2019/1/15
調整後保管日時		2019年1月31日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	FI-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	11:30	承認	審査	作成	
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	G4南タンクエリア Eタンクエリア					2019/1/15	2019/1/15	2019/1/11
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/10	測定者		測定器名	ICW(BL)	管理番号	FI-ICWBL-34	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	ケーブル	B 08	D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	金属ガラ	B 01	D B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	制御盤	B 03	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	不燃物その他	B 10	D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5				m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 10:30	3 m ²			1
	4	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 10:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 ~ 0018

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	Dタンク周辺・Eタンク周辺・Hタンク周辺						2019/1/15	2019/1/15	2019/1/15	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/1/10	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-75	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	伐採木			D	02	D	A	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			
注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	01	—	0165
				2019/1/15
調整後保管日時		2019年1月30日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木				エリアV(伐採木)	2019/1/30 10:00	5 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015203 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日	(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	構内所在不明物品の片付け業務委託3期							
	発生場所	5・6号西ヤードA			2019/1/16	2019/1/16	2019/1/16		
	作業主管G	工事基盤整備グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/1/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-033		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物その他	B 10	D A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	金属ガラ	B 01	D A	15 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	3	機器類・制御盤類	B 03	D A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	4	塩化ビニール類	B 05	D A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	5				m ²				
	注: α 有、 β 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0197
				2019/1/16
調整後保管日時		2019年1月31日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 10:50	20 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010505 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月24日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	車両整備業務								
	発生場所	構内車両整備工場(GR-17中央)					2019/1/15	2019/1/15	2019/1/15	
	作業主管G	資材物流グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
メ モ	線量測定年月日	2018/12/25	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	118
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ポリ・ビニール類	A 02	D B	1.6 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2				m ²					
	3				m ²					
4				m ²						
5				m ²						
注: α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GR-17中央										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0208
				2019/1/16
調整後保管日時		2019年1月31日		9:30
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 9:50	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010505 - 0003

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月23日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	車両整備業務								
	発生場所	構内車両整備工場(GR-17中央)						2019/1/15	2019/1/15	2019/1/15
	作業主管G	資材物流グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/12/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	118		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙類	A	01	D	B	4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収場所: GR-17中央									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0209
				2019/1/16
調整後保管日時		2019年1月31日		10:30
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 9:50	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G4南タンクエリア、Eタンクエリア						2019/1/16	2019/1/16	2019/1/16
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/7	測定者		測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	紙・ウェス類	A 01	W B	0.5 m ²	0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無	
	2	プラ・ポリ・ビニール類	A 02	D B	2 m ²	0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A 04	D B	2 m ²	0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無	
	4	難燃物その他	C 04	D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h		0.01 mSv/h	無	
	5				m ²					
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0222
				2019/1/17
調整後保管日時		2019年1月31日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 11:00	0.1 m ²			1
	2	1	プラ・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 11:00	4.9 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 11:00	1.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0033		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収設備他点検修理工事										
	発生場所	1F H4タンクエリア						2019/1/17	2019/1/17	2019/1/17		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/15	測定者			測定器名	ICW		管理番号	FI-ICWBL-48		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
1	可燃物その他	A	04	W	B	3 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無			
2	難燃物その他	C	04	W	B	1 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無			
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0224
				2019/1/17
調整後保管日時		2019年1月31日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	FI-ICW-179
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 10:00	0.7 m ³				1
											m ³				
											m ³				
											m ³				
											m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
			01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		B 不燃物	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C 難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D 伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0033

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収設備他点検修理工事							
	発生場所	1F H4タンクエリア					2019/1/17	2019/1/17	2019/1/17
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/15	測定者		測定器名	ICW		管理番号	FI-ICWBL-48
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	金属ガラ	B 01	W B	3 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2	コーキングカス	B 10	W B	1 m ³	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	3				m ³				
	4				m ³				
	5				m ³				
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0225
				2019/1/17
調整後保管日時		2019年1月31日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 10:00	1 m ³			1
	2	1	コーキングカス②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 10:00	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0226
				2019/1/17
調整後保管日時		2019年1月30日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICWBL	F1-ICWBL-42
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	5, 6T 滞留水浄化装置設置							
	発生場所	Fエリア					2019/1/17	2019/1/17	2019/1/17
	作業主管G	機械グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/12/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-128	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙類	A 01	D B	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2	ビニール類	A 02	D B	1.5 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	3	プラスチック類	A 02	D A	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
4	可燃物その他	A 04	D B	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
5	金属ガラ・架台・鉄板類	B 01	D A	4 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 10:30	0.1 m ²			1
2	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 10:30	1.5 m ²			1
3	1	プラスチック類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 10:30	0.5 m ²			1
4	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 10:30	1 m ²			1
5	1	金属ガラ・架台・鉄板類 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:25	3 m ²			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0010

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0227
				2019/1/17
調整後保管日時		2019年1月30日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	5・6T 滞留水浄化装置設置								
	発生場所	Fエリア					2019/1/17	2019/1/17	2019/1/17	
	作業主管G	機械グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/12/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-128		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
	1	計器類	B 03	D	A	0.5 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	2	PE管(外装付)	B 10	D	B	5 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
	3	保温材	B 06	D	A	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無	
4	EFソケット・フランジ	B 10	D	A	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
5	不燃類	B 10	D	A	1 m ²	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h	無		
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	計器類 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:40	0.5 m ²			1
	2	1	PE管(外装付) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:40	5 m ²			1
	3	1	保温材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:40	0.5 m ²			1
	4	1	EFソケット・フランジ ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:40	1 m ²			1
	5	1	不燃類 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:40	1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0050

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	NW水処理設備修理工事								
	発生場所	水処理建屋					2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18	
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/1/15	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リ-ICW-163		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	機器類(バルブ)	B	03	W	A	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
2	金属ガラ(番線、ボルト、缶、チャックプレート類)	B	01	W	A	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	保温材	B	06	D	A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0230
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月31日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類(バルブ) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/1/31 9:45	0.5 m ²			1
	2	1	金属ガラ(番線、ボルト、缶、チャックプレート類) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/1/31 9:45	0.5 m ²			1
	3	1	保温材 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/1/31 9:45	1 m ²			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日	(水)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号			
							F1-ICWBL-74			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0234
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/30 8:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0235
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/30 8:25	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0236
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2019/1/18	2019/1/18	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/30 8:55	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
	③	状態		D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013102 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	9:30		承認	審査	作成
	作業件名	土捨場北側土地造成工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2019/1/18	2019/1/18 2019/1/18
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0237
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/30 9:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0238
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2019/1/18	2019/1/18	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/1/30 11:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月31日	(木)	8:30	承認	審査	作成
	作業件名	土捨場北側土地造成工事					
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員			
	元請会社			担当者			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/1/14	測定者			測定器名	ICWBL
						管理番号	F1-ICWBL-74
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無
							$\beta + \gamma$ 線量率
メ モ	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	5 m ³
	2						m ³
	3						m ³
	4						m ³
	5						m ³
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0239
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月31日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 8:05	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日	(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
	4				m ²				
5				m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0240
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月31日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 8:35	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	Nエリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G	線量測定年月日	2019/1/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-138	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	汚染土砂	B	04	D	A	1032 m ²	0.005 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有 0.035 mSv/h
	2						m ²			
入 欄	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	①No.(D24~44) ②Nエリア鋼製角形容器 ③固体廃棄物管理G 調整済									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0241
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	Nエリア鋼製角形容器(D24)	5 μ Sv/h	8 μ Sv/h	8 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49 m ²		D24	1
	1	2	Nエリア鋼製角形容器(D25,D26)	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h	7 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	98 m ²		D25,D26	1
	1	3	Nエリア鋼製角形容器(D27)	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49 m ²		D27	1
	1	4	Nエリア鋼製角形容器(D28)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49 m ²		D28	1
	1	5	Nエリア鋼製角形容器(D29)	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49 m ²		D29	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記の保管物はNエリア鋼製角形容器21基に分けて収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6					m ³							
	7					m ³							
	8					m ³							
	9					m ³							
	10					m ³							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0241

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	Nエリア鋼製角形容器(D30)	5	μ Sv/h	18	μ Sv/h	18	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D30	1
	1	7	Nエリア鋼製角形容器(D31)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D31	1
	1	8	Nエリア鋼製角形容器(D32)	5	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D32	1
	1	9	Nエリア鋼製角形容器(D33)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D33	1
	1	10	Nエリア鋼製角形容器(D34)	5	μ Sv/h	8	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D34	1
	1	11	Nエリア鋼製角形容器(D35)	5	μ Sv/h	13	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D35	1
	1	12	Nエリア鋼製角形容器(D36)	5	μ Sv/h	30	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D36	1
	1	13	Nエリア鋼製角形容器(D37)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D37	1
	1	14	Nエリア鋼製角形容器(D38)	5	μ Sv/h	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D38	1
	1	15	Nエリア鋼製角形容器(D39)	5	μ Sv/h	35	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D39	1
	1	16	Nエリア鋼製角形容器(D40)	5	μ Sv/h	70	μ Sv/h	70	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D40	1
	1	17	Nエリア鋼製角形容器(D41)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D41	1
	1	18	Nエリア鋼製角形容器(D42)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D42	1
	1	19	Nエリア鋼製角形容器(D43)	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D43	1
	1	20	Nエリア鋼製角形容器(D44)	5	μ Sv/h	60	μ Sv/h	60	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:00	49	m ³		D44	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②				状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0242
				2019/1/18
調整後保管日時		2019年1月30日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-119	
2				
3				
4				

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	Nエリア						2019/1/18 2019/1/18 2019/1/18	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-138		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	汚染土砂	B 04	D A	857 m³	0.006 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.065 mSv/h
	2				m³				
	3				m³				
4				m³					
5				m³					
メ モ	①No.(E1 ~ E29)29個 ②Nエリア鋼製角形容器 ③固体廃棄物管理G)調整済								

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h						
1	1		Nエリア鋼製角形容器(E1)	5	μ Sv/h	21	μ Sv/h	21	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30 m³		E1	1
1	2		Nエリア鋼製角形容器(E2,E19)	5	μ Sv/h	12	μ Sv/h	12	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60 m³		E2,E19	1
1	3		Nエリア鋼製角形容器(E3)	5	μ Sv/h	18	μ Sv/h	18	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30 m³		E3	1
1	4		Nエリア鋼製角形容器(E4)	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30 m³		E4	1
1	5		Nエリア鋼製角形容器(E5,E20)	5	μ Sv/h	25	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60 m³		E5,E20	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ	上記の保管物はNエリア鋼製角形容器29基に分けて収納。														

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ²				
	7					m ²				
	8					m ²				
	9					m ²				
	10					m ²				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0242

保 管 実 績 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	Nエリア鋼製角形容器(E6,E9)	5	μ Sv/h	35	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E6,E9	1
	1	7	Nエリア鋼製角形容器(E7,E29)	5	μ Sv/h	22	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E7,E29	1
	1	8	Nエリア鋼製角形容器(E8,E10)	5	μ Sv/h	23	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E8,E10	1
	1	9	Nエリア鋼製角形容器(E11,E13)	5	μ Sv/h	14	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E11,E13	1
	1	10	Nエリア鋼製角形容器(E12)	5	μ Sv/h	25	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E12	1
	1	11	Nエリア鋼製角形容器(E14,E16)	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E14,E16	1
	1	12	Nエリア鋼製角形容器(E15)	5	μ Sv/h	13	μ Sv/h	13	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E15	1
	1	13	Nエリア鋼製角形容器(E17,E25)	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E17,E25	1
	1	14	Nエリア鋼製角形容器(E18)	5	μ Sv/h	13	μ Sv/h	15	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E18	1
	1	15	Nエリア鋼製角形容器(E21,E24)	5	μ Sv/h	45	μ Sv/h	45	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	60	m ²		E21,E24	1
	1	16	Nエリア鋼製角形容器(E22)	5	μ Sv/h	40	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E22	1
	1	17	Nエリア鋼製角形容器(E23)	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E23	1
	1	18	Nエリア鋼製角形容器(E26)	5	μ Sv/h	30	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E26	1
	1	19	Nエリア鋼製角形容器(E27)	5	μ Sv/h	18	μ Sv/h	24	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E27	1
	1	20	Nエリア鋼製角形容器(E28)	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	16	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 9:30	30	m ²		E28	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
		C 難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D 伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0016		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	12:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事										
	発生場所	Nエリア						2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/1/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-138		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
1	汚染土砂	B	04	D	A	796 m ³	0.006 mSv/h	0.025 mSv/h	β 有	0.03	mSv/h	
2						m ³						
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
メ モ	①No.(F1 ~ F25)25個 ②Nエリア鋼製角形容器 ③固体廃棄物管理G)調整済											

線量測定内容											
測定日	2019年1月30日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-42								
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	Nエリア鋼製角形容器(F1)	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	40 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32 m ³		F1	1	
1	2	Nエリア鋼製角形容器(F2)	5 μ Sv/h	45 μ Sv/h	45 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32 m ³		F2	1	
1	3	Nエリア鋼製角形容器(F3)	5 μ Sv/h	60 μ Sv/h	60 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32 m ³		F3	1	
1	4	Nエリア鋼製角形容器(F4)	5 μ Sv/h	37 μ Sv/h	40 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32 m ³		F4	1	
1	5	Nエリア鋼製角形容器(F6)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32 m ³		F6	1	

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ 上記の保管物はNエリア鋼製角形容器16基に分けて収納。
※ 予定されていた容器25基の内9基は受入れ中止。

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐採木												
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	6					m ³				
	7					m ³				
	8					m ³				
	9					m ³				
	10					m ³				

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0243

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	23	μ Sv/h	30	μ Sv/h			32	m ³			
	1	6	Nエリア鋼製角形容器(F7)	5	μ Sv/h	23	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F7	1
	1	7	Nエリア鋼製角形容器(F8)	5	μ Sv/h	35	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F8	1
	1	8	Nエリア鋼製角形容器(F9)	5	μ Sv/h	20	μ Sv/h	20	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F9	1
	1	9	Nエリア鋼製角形容器(F12)	5	μ Sv/h	30	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F12	1
	1	10	Nエリア鋼製角形容器(F13)	5	μ Sv/h	63	μ Sv/h	70	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F13	1
	1	11	Nエリア鋼製角形容器(F14)	5	μ Sv/h	40	μ Sv/h	45	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F14	1
	1	12	Nエリア鋼製角形容器(F16)	5	μ Sv/h	35	μ Sv/h	38	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F16	1
	1	13	Nエリア鋼製角形容器(F17)	5	μ Sv/h	45	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F17	1
	1	14	Nエリア鋼製角形容器(F19)	5	μ Sv/h	60	μ Sv/h	63	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F19	1
	1	15	Nエリア鋼製角形容器(F20)	5	μ Sv/h	38	μ Sv/h	36	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F20	1
	1	16	Nエリア鋼製角形容器(F21)	5	μ Sv/h	80	μ Sv/h	80	μ Sv/h	エリアN	2019/1/30 12:00	32	m ³		F21	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A 可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B 不 燃 物		01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	C 難 燃 物		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	D 伐 採 木		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0245
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月30日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	H6北,G4南,G6タンクエリア					2019/1/21	2019/1/21	2019/1/21		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/1/16	測定者		測定器名	ICW(B)	管理番号	F1-ICWBL-128			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	6m3コンテナ(2019ZK-02017)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	10 mSv/h
	2	6m3コンテナ(2019ZK-02020)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	10 mSv/h
	3	6m3コンテナ(2019ZK-02018)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	50 mSv/h
4	6m3コンテナ(2019ZK-02019)	B	01	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	50 mSv/h	
5						m ³					
β + γ 線量率は廃棄物表面線量を示す。											

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(2019ZK-02017)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/1/30 9:45	6 m ³		ZK-02017	1
	2	1	6m3コンテナ(2019ZK-02020)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/1/30 9:45	6 m ³		ZK-02020	1
	3	1	6m3コンテナ(2019ZK-02018)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/1/30 9:45	6 m ³		ZK-02018	1
	4	1	6m3コンテナ(2019ZK-02019)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	固体庫9棟地上1階	2019/1/30 9:45	6 m ³		ZK-02019	1
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	12:00		承認	審査	作成	
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2019/1/21	2019/1/18	2019/1/18
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ³	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	D1	—	0246
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月31日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 11:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月31日	(木)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2019/1/21	2019/1/18	2019/1/18		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL				
	元請会社			担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/12/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74		
	※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
No.	保管物名	①	②	③					
1	金属くず	B 01	D	A	4 m ³	3 μ Sv/h	95 μ Sv/h	β 有	6 mSv/h
2	岩	B 04	D	A	0.5 m ³	3 μ Sv/h	100 μ Sv/h	β 有	4.5 mSv/h
3					m ³				
4					m ³				
5					m ³				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0247
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月31日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属くず	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	90 μ Sv/h	エリアW1	2019/1/31 12:10	1.5 m ³		ZK-02042	1
	2	1	岩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/1/31 12:10	0.5 m ³		ZK-02042	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=10 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=10 μ Sv/h												

※カテゴリー	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあつた物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0089

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0248
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月30日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2		ICWBL	F1-ICWBL-127	
3				
4				

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	所内共通MCC3C取替工事関連除却								
	発生場所	・2号機 T/B 2 FL						2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWB L-33	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ケーブル類	B 08	D A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	エフレックス	C 04	D A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3	エフレックス	C 04	D A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β有	0.02 mSv/h	
4				m ²						
5				m ²						

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 10:05	2 m ²			1
	2	1	エフレックス(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 11:00	1.5 m ²			2
	3	1	エフレックス	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/1/30 10:05	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

No.3の保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=20 μSv/h, β+γ線量率=40 μSv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0088

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0249
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月30日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	所内共通MCC3C取替工事								
	発生場所	・2号機 T/B 2 FL					2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/1/16	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-33		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③					
	1	作業用ヘルメット	B	07	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	作業用黄靴	B	07	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	全面マスク用フィルター	B	07	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	タイベック	B	07	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	作業用ヘルメット	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/1/30 11:20	0.3 m ²		ZK-01489	1
	2	1	作業用黄靴	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/1/30 11:20	0.3 m ²		ZK-01489	1
	3	1	全面マスク用フィルター	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/1/30 11:20	0.1 m ²		ZK-01489	1
	4	1	タイベック	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアW1	2019/1/30 11:20	0.3 m ²		ZK-01489	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=20 μSv/h, β+γ線量率=20 μSv/h												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013203 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	汚染水タンク雨水対策(堰カバー)工事								
	発生場所	各タンクエリア						2019/1/18	2019/1/18	2019/1/18
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/18	測定者			測定器名	ICWBL($\beta + \gamma$)		管理番号	F1-ICWBL-128
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	不燃物(型枠足場等)	B	01	D	B	5 m ²	0.007 mSv/h	0.05 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0250
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月31日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(型枠足場等) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 10:40	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0011	
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H5タンクエリア						2019/1/21	2019/1/21	2019/1/21	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/1/18	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ			B	02	W	A	30 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
2								m ³			
3								m ³			
4								m ³			
5								m ³			
大型6台											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0251
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月30日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/30 8:30	5 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/30 8:35	5 m ³			1
	1	3	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/30 9:25	5 m ³			1
	1	4	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/30 9:35	5 m ³			1
	1	5	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/30 10:00	5 m ³			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主管 G記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m'							
	7					m'							
	8					m'							
	9					m'							
10					m'								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0251

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	コンクリートガラ ①	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h			エリアC	2019/1/30 10:10	5 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H5タンクエリア						2019/1/21	2019/1/21	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/18	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	W	A	30 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	大型6台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0252
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月31日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 8:30	5 m ²			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 8:40	5 m ²			1
	1	3	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 9:00	5 m ²			1
	1	4	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 9:10	5 m ²			1
	1	5	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/1/31 9:40	5 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③								
	6					m							
	7					m							
	8					m							
	9					m							
	10					m							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0252

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	6	コンクリートガラ ①	5	$\mu\text{Sv/h}$	5	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2019/1/31 9:50	5	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア						2019/1/21	2019/1/21	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/1/11	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	
	F1-ICW-272									
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ		①	②	③	1 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メ モ	鉄くずトンバック 4tDT(1m3)×1台=1m3									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0253
				2019/1/21
調整後保管日時		2019年1月31日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-042
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 8:50	1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013211 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	9:00		承認	審査	作成					
	作業件名	2号機周辺建屋屋根面雨水対策												
	発生場所	2号機原子炉建屋周辺ヤード						2019/1/22	2019/1/22	2019/1/22				
	作業主管G	2号機建築グループ				監理員		TEL						
	元請会社					担当者		TEL						
線量測定	線量測定年月日	2019/1/18		測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICBL-82				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率					
		①	②	③										
		1	ボルト他(金属ガラ)	B 01 D B						2 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
		2	塩化ビニールホース(塩化ビニール類)	B 05 D B						1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
3	ケーブル他(ケーブル類)	B 08 D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無								
4	不燃シート(不燃物その他)	B 10 D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	無								
5														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0255
				2019/1/22
調整後保管日時		2019年1月31日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	ボルト他(金属ガラ) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 8:55	0.5 m ²				1
2	1	塩化ビニールホース(塩化ビニール類)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 9:00	0.1 m ²				2
3	1	ケーブル他(ケーブル類) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 8:55	0.5 m ²				1
4	1	不燃シート(不燃物その他) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 8:55	1.5 m ²				1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2019/1/22	2019/1/22	2019/1/22	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/1/15	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	大型2台									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0256
				2019/1/22
調整後保管日時		2019年1月30日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/30 12:30	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/1/15	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ			B	01	D	B	8 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無
2								m ³			
3								m ³			
4								m ³			
5								m ³			
メモ	大型2台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0257
				2019/1/22
調整後保管日時		2019年1月31日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-42	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/1/31 11:50	6 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0017

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0260
				2019/1/23
調整後保管日時		2019年1月31日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2		ICW	F1-ICW-042
3			
4			

作業主管理記入欄	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	12:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-2~3PCVガス管理設備空調機取替工事(H30)							
	発生場所	2. 3号機 T/B 2F オペフロ					2019/1/23	2019/1/23	2019/1/23
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/11	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リ-ICW-160	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス類(段ボール類)	A 01	D B	2 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	難燃シート類	C 02	D B	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類(発泡スチロール他)	A 02	D B	2 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	金属ガラ(銅管類)	B 01	D A	0.1 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
5	土砂類(スラッチ)	B 04	D A	0.01 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類(段ボール類)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 12:00	0.9 m ²			1
2	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 12:00	0.3 m ²			1
3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(発泡スチロール他)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 12:00	1.6 m ²			1
4	1	金属ガラ(銅管類) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h			エリアP1(屋外)	2019/1/31 11:15	0.1 m ²			2
8	1	可燃その他(ラミネート)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 12:00	0.05 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	保温材	B	06	D	A	0.01	m	0.001	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	7	塩化ビニール類(塩ビ管)	B	05	D	B	0.01	m	0.001	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	8	可燃その他(ラミネート)	A	04	D	B	0.01	m	0.001	mSv/h	0.002	mSv/h	無		
	9						m								
	10						m								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	01	—	0260

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015302 - 0002

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	12:30		承認	審査	作成
	作業件名	1F-4 SFP循環冷却二次系設備除却工事							
	発生場所	2.3号機 T/B 2F オペフロ						2019/1/23	2019/1/23
	作業主管G	使用済燃料プール冷却グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2019/1/11	測定者			測定器名	ICW		管理番号
								リ-ICW-160	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	機器類・制御盤類(エアコン)	B	03	D	A	5 m ²	0.001 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0261
				2019/1/23
調整後保管日時		2019年1月31日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-042	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類(エアコン) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/1/31 11:40	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	9:30		承認	審査	作成
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア						2019/1/23	2019/1/23
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/1/15	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号
							1F-ICWBL-14		
No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	保管物名	①	②	③					
1	不燃物その他	B	10	D	A	2.5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
2	塩化ビニール類	B	05	D	A	2.5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
メモ	4tユニック1台								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0262
				2019/1/23
調整後保管日時		2019年1月31日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2		ICWBL	F1-ICWBL-127
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/1/31 9:35	3 m ²			1
	2	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 9:30	1 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0264
				2019/1/24
調整後保管日時		2019年1月30日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月30日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年1月30日		(水)	13:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	H4タンクエリア【弊社にてCヤードに持ち込みます。】					2019/1/24	2019/1/24	2019/1/24
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/21	測定者		測定器名	β・γ用電離箱		管理番号	1F-ICWBL-140
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ホリ・ビニール類	A 02	D B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	木材類	A 03	D B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	可燃物その他	A 04	D B	0.8 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
5	難燃物その他	C 04	D B	0.2 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
メモ	難燃物その他内訳:シーラント付着(ウエス・紙・ホリ類) 企業殿持込み。								

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 13:00	0.7 m ²			1
	2	1	プラスチック・ホリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 13:00	2.6 m ²			1
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 13:00	0.3 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 13:00	0.3 m ²			1
	5	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/30 13:00	0.1 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0154

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	【既設・増設】多核種除去設備 弁類点検手入工事							
	発生場所	1F 既設ALPS					2019/1/24	2019/1/24	2019/1/24
	作業主管G	処理設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/1/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-126	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	W B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	W B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1.1 mSv/h
	3	可燃物その他	A 04	W B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	4	難燃シート類	C 02	D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	5	難燃ゴム類	C 01	D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0265
				2019/1/24
調整後保管日時		2019年1月31日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-42
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	1.5 mSv/h	エリアW1	2019/1/31 10:25	0.5 m ²		ZK-01893	1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μ Sv/h	60 μ Sv/h	160 μ Sv/h	エリアW1	2019/1/31 10:25	1 m ²		ZK-01893	1
	3	1	可燃物その他	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	900 μ Sv/h	エリアW1	2019/1/31 10:25	0.2 m ²		ZK-01893	1
	4	1	難燃シート類	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	60 μ Sv/h	エリアW1	2019/1/31 10:25	0.3 m ²		ZK-01893	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記保管物収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=300 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=300 μ Sv/h											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日	(木)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	2018年工事用重機・車両の管理・運用委託							
	発生場所	スラッジヤード			2019/1/28	2019/1/28	2019/1/28		
	作業主管G	保全計画グループ		監理員		TEL			
	元請会社		担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/1/28	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号		
							1F-ICWBL-123		
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	木材	A 03	D	B	3 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
2	紙・ウエス類	A 01	W	B	3 m ³	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
3					m ³				
4					m ³				
5					m ³				
固体廃棄物管理G殿連絡済み。合計6m3での申請ですが木材との混載のため、そのまま受付とします。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0266
				2019/1/28
調整後保管日時		2019年1月31日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年1月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-179
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 11:50	3 m ³			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 11:50	1.1 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0003

作業主管理	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	13:00	承認	審査	作成													
	作業件名	サブドレン移送設備点検手入れ																			
	発生場所	サブドレン移送設備建屋					2019/1/28	2019/1/28	2019/1/28												
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL															
	元請会社				担当者	TEL															
線量測定	線量測定年月日	2018/2/28	測定者		測定器名	ICWB		管理番号	F1-ICWBL-130												
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率											
			①	②	③																
			1	難燃物その他	C						04	D	B	3	m ³	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
			2											m ³							
3							m ³														
4							m ³														
5							m ³														
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	01	—	0267
				2019/1/29
調整後保管日時		2019年1月31日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年1月31日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-179	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 13:00	2.8 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0027		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年1月31日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	タンクヤード					2019/1/10	2019/1/10	2019/1/10			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/11/13	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-72		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	ホース		C	03	D	A	5 m ²	0.12 μSv/h	0.12 μSv/h	無	
	2							m ²				
	3							m ²				
4							m ²					
5							m ²					
メ モ	巡回回収場所:GM-23東											

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
高2019	—	01	—	0105	2019/1/11						
調整後保管日時		2019年1月31日				10:00					
【保管時の指示事項等】											
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。											

線量測定内容									
測定日	2019年1月31日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICWBL	F1-ICWBL-127						
2									
3									
4									

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	ホース (→H)	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2019/1/31 10:00	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。